

あずまCていね

生活支援体制整備事業とは・・・

ひとり暮らし世帯や、話し相手、外出時の付添、掃除などのちょっとしたお手伝いを必要とする高齢者がいつまでも安心して暮らせるよう、町内会、地区福祉のまち推進センター、民生委員児童委員、老人クラブ、地域包括支援センター、社会福祉法人、NPO法人、地域企業などが一体となった、身近な地域での支え合いの仕組みづくりを推進し、お互い様の地域づくりを目指していきます。

富丘西宮の沢、手稲中央地区にて生活支援推進連絡会を開催しました。



▲ 富丘西宮の沢地区での連絡会の様子

3月18日に富丘西宮の沢地区にて、3月22日に手稲中央地区にて生活支援推進連絡会を開催いたしました。

それぞれの地区関係者及び地域包括支援センターの職員等の皆様にお集まりいただき、富丘西宮の沢地区では「福祉推進委員連絡会」を、手稲中央地区では「支え合い体制構築に向けた第2回ワークショップ」を振り返りながら、それぞれの地区の解決を要する事柄や今後の取り組みについて、意見交換を行いました。

今後、それぞれの地区でアンケート調査や検討のための小委員会の設置を進める予定です。

※「生活推進連絡会」とは「地域の困りごとについて把握・解決するために話し合う場」のことです。

ボランティア交流会にて「助け合いゲーム」を実施しました。(3月11日)

助け合いゲームとは・・・

60枚のカードから、自分が「助けてもらいたいこと」を3枚ずつ選びます。その後選んだカードをグループ内に見せ、手伝ってもらえるか交渉します。成立したら相手にカードを渡し、最後に残った枚数から、自分は「助け上手」、「助けられ上手」なのかがわかります。

カードを選びます。



交渉中・・・



成立!



取り組み後の感想

- カードを使うと手伝って欲しいことの整理がつきやすく、助けて欲しいことが伝えやすかった!
- 自分にできることが多くあることがわかり、自信につながった!
- 5年、10年先も自分らしく暮らすために「手伝って」「できるよ」と言い合える仲間づくりをしたい!

今まで頼めると思っていなかったことや、手伝えることの幅が増えた等、ゲームを通して、改めて気付くことができたとの声が多くありました。これからの活動がより良いものになるよう、今後も地域で活躍される皆様のお手伝いをさせていただきたいと思っております。



ふれあい・いきいきサロンに訪問しました。

サロン「カトレア会」(富丘・西宮の沢) 運営団体: 富丘東一町内会

2月23日(土)にサロン「カトレア会」に訪問させていただきました。普段は個人宅にて開催されているサロンですが、デイサービスセンター「モエスタαプレミアム」様のご厚意で施設スペースを利用させていただくことになりました。この日は「クイズ」や「歌唱」を楽しまれ、参加者の皆さんは「たまに違う場所でやるサロンも新鮮でいいねえ」と、いつもとは違う雰囲気を楽しまれているようでした。



始めは元気に「歌唱」から！今日は「手のひらを太陽に」を皆さんで歌われました。



ことわざクイズでは、すぐに解答される方も多く、「昔ならったことは意外と覚えているもんだねえ」と楽しめる様子がありました。



地域生活で気になること・困っていること
をお聞きしました。

- 最近高い所に立つと(足場が)不安定で怖いよね。
- 最近視力が悪くなってきてさ…外に出るのも大変になってきてね。
- 夫が亡くなって、男手が必要な時に頼れる人が欲しいのよ。



漢字なぞなぞに挑戦！皆さん、紙にある漢字を見て「これはどんな意味なんだろう？」と熱心に考えられていました。

「カトレア会」

開催日時: 月1回(不定期) 10:00~12:00

※自宅提供者の都合により日程を決めます。

問い合わせ先: 電話681-2644(手稲区社会福祉協議会)

お忙しい中、温かく迎えてくださりありがとうございました！！



あずましい声
を見つけました！

東日本大震災をきっかけに札幌へ移住したのさ。手稲は住みやすく、特に富丘の方は地震が来てもあまり揺れないから安心感があるよね。こっちに来てからは隣近所の方と関わる機会が多くて、今では町内会や老人クラブにも参加するようになってね。お世話になっている手稲のためにも夫婦共々まちの活動には積極的に参加してるよ。(カトレア会参加者)



お世話になっております。「前田・新発寒・富丘西宮の沢地区」担当の橘高(キッタカ)です。今年度は地域のサロン・町内会へ訪問し、多くの住民の皆様から取り組みについて、ご関心をお寄せいただきました。皆様から頂いたお声を元に、地域に必要な支え合いの仕組みづくりができるよう、今後も取り組んで参ります。

